

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 公告掲載URL <a href="http://www.shindengen.co.jp/ir/">http://www.shindengen.co.jp/ir/</a> (ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)

### 【お知らせ】

- 株式に関する住所変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増のお問合せについて

【証券会社等に口座を開設されている株主様】

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

【証券会社等に口座を開設されていない株主様】

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に特別口座が開設されております。

下記フリーダイヤルにお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

0120-232-711 (三菱UFJ信託銀行証券代行部)  
0120-094-777 (三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) } 通話料無料  
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 配当金の支払通知書について

租税特別措置法の2008年改正により、お支払する配当金について、配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」をお送りしております。

【配当金を「配当金額収証」、または「口座振込」にてお受取りになられる株主様】

「支払通知書」を兼ねる「配当金計算書」を同封しております。株主様が確定申告をする際の添付資料としてご利用いただけます。

【配当金を株式数比例配分方式にてお受取りになられる株主様】

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

- 配当金の口座振込のご指定について

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

- 未受領の配当金について

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 新電元工業株式会社

〒100-0004

東京都千代田区大手町二丁目2番1号(新大手町ビル)

電話 03-3279-4431(代表)

<http://www.shindengen.co.jp/>



# Shindengen Electric Manufacturing Co., Ltd.

## 第92期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



証券コード：6844

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当社92期（平成26年度）の中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

#### ◇当期の概要

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、日本においては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減があったものの、企業の設備投資が好調だったほか、雇用環境にも改善が見られるなど、緩やかに景気回復が進みました。海外においては、米国では堅調な回復が見られた一方で、新興国では景気減速への警戒感から足踏み状態が続きました。

当社グループを取り巻く環境は、地域によりバラつきはあったものの、成長事業と位置付けているモビリティ分野と新エネルギー分野を中心に概ね堅調に推移いたしました。

このようななか、当第2四半期連結累計期間の売上高は504億38百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は47億32百万円（前年同期比20.7%減）、経常利益は45億46百万円（前年同期比28.2%減）、四半期純利益は29億89百万円（前年同期比44.0%減）となりました。

#### ◇今後の見通し

通期の連結業績予想につきましては、上半期の進捗および現況を踏まえ、平成26年5月9日に公表いたしました数値から、売上高1,040億円、営業利益98億円、経常利益92億円、当期純利益は65億円に修正しております。

なお、平成27年3月期の配当予想につきましては、期末配当金として1株当たり10円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



新電元工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 雅人

#### ◇当期のポイント

**POINT-1** 地域にバラつきがあるものの、モビリティ分野と新エネルギー分野を中心に概ね堅調に推移

**POINT-2** アジア通貨安の影響、労経費増加もあり、前年同期比減益

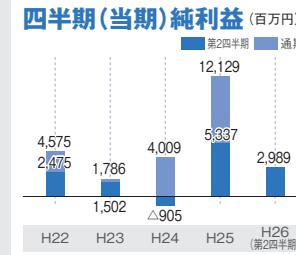
#### ◇連結業績の推移

		第90期 (平成24年度)	第91期 (平成25年度)	第92期 (平成26年度)
売上高	第2四半期	40,723	50,574	50,438
	通 期	88,426	104,564	—
営業利益	第2四半期	216	5,970	4,732
	通 期	3,333	11,313	—
経常利益	第2四半期	△778	6,330	4,546
	通 期	3,317	10,960	—
四半期(当期)純利益	第2四半期	△905	5,337	2,989
	通 期	4,009	12,129	—
1株当たり四半期(当期)純利益	第2四半期	△9.21	51.80	29.01
	通 期	38.06	117.71	—
総資産	第2四半期	108,870	127,919	130,665
	通 期	118,700	132,823	—
純資産	第2四半期	31,524	44,831	50,932
	通 期	39,746	49,662	—
1株当たり純資産	第2四半期	293.35	435.07	494.32
	通 期	372.73	481.97	—



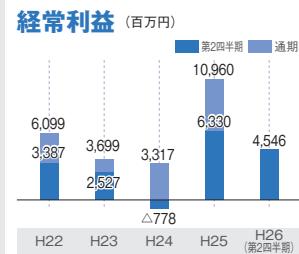
売上高 **504億38百万円** 前年同期比 1億35百万円減 **DOWN**

売上高は前年同期比1億35百万円減の504億38百万円となりました。



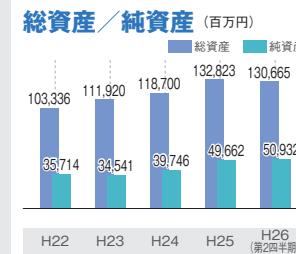
四半期純利益 **29億89百万円** 前年同期比 23億47百万円減 **DOWN**

四半期純利益は前年同期比23億47百万円減の29億89百万円となりました。



経常利益 **45億46百万円** 前年同期比 17億83百万円減 **DOWN**

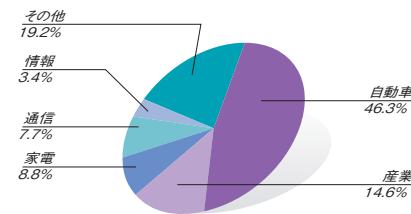
経常利益は前年同期比17億83百万円減の45億46百万円となりました。



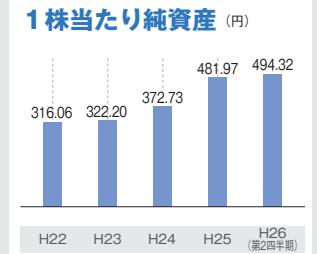
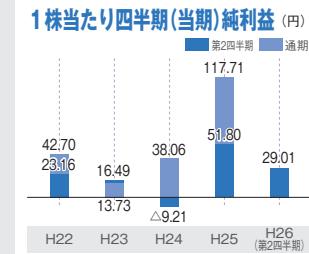
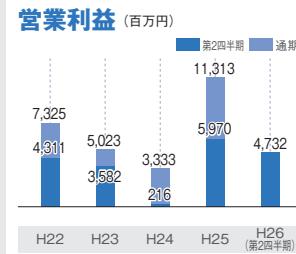
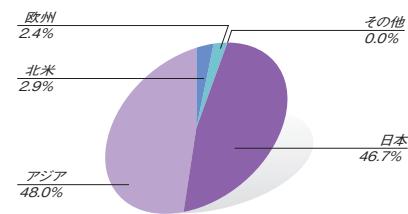
総資産 **1,306億65百万円** 前期末比 21億58百万円減 **DOWN**  
 純資産 **509億32百万円** 前期末比 12億69百万円増 **UP**

総資産については、主に現金及び預金が減少したことなどにより、前期末に比べ21億58百万円減の1,306億65百万円となりました。

市場別売上構成比率



仕向地別売上比率

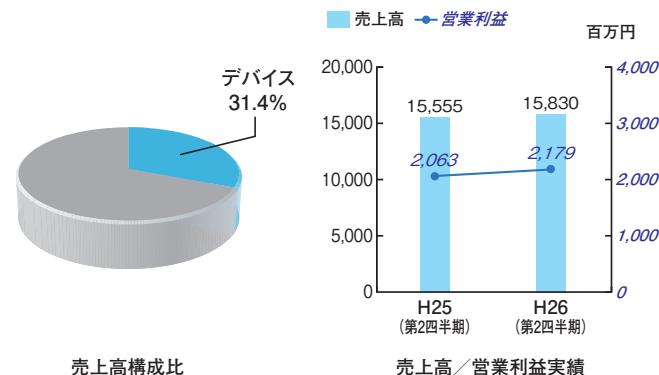


## デバイス事業

### 概況（平成26年度）

デバイス事業の売上高は158億30百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は21億79百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

産業機器市場においては、好調な企業の設備投資を背景にダイオード需要が増加いたしました。また、自動車市場においては、国内で消費増税による駆け込み需要の反動減があったものの、全体としては面実装製品を中心に底堅く推移し、増収、増益となりました。



### 主要製品



- ダイオード各種
  - ・一般整流ダイオード
  - ・ブリッジダイオード
  - ・高速整流ダイオード
  - ・ツェナーダイオード
- サージ防護素子
- SIDAC
- MOSFET
- IC各種
  - ・高耐圧パワーIC
  - ・省電力型パワーIC
  - ・DC-DCコンバータIC
  - ・モータドライバIC
- パワーモジュール

### 主な用途

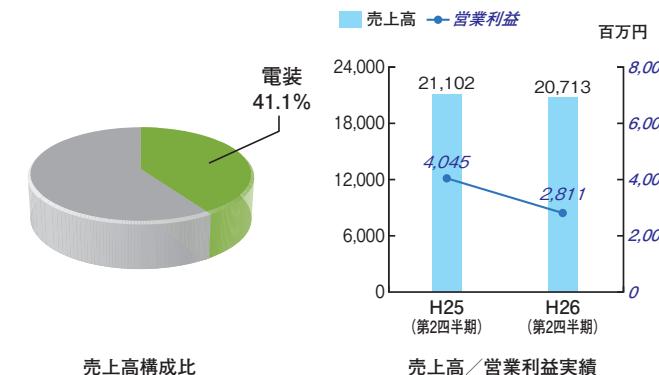
自動車、産業機器  
デジタル家電、白物家電  
通信機器、OA機器など

## 電装事業

### 概況（平成26年度）

電装事業の売上高は207億13百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は28億11百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

アジア二輪車市場においては、タイの市場低迷などが響いたものの、インドでは新たに立ち上げた生産子会社の稼働が寄与しはじめたことに加え、主力のレギュレータ需要が増加したほか、インドネシアではECU（電子制御ユニット）が伸長したことで、全体としては僅かな減収に留まりました。損益面においては、事業拡大に向けた設備投資実施による償却費の増加や、前年対比でアジア通貨安に推移したことなどを受け、減益となりました。



### 主要製品



- 二輪車用電装品
  - ・レギュレータ／レクティファイア
  - ・CDI
  - ・FIシステム向けECU
- 四輪車用電装品
  - ・DC/DCコンバータ
  - ・車載用充電器

### 主な用途

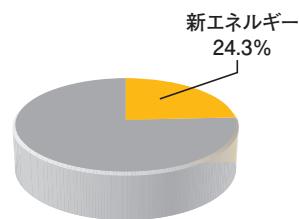
二輪車、四輪車、船外機

新エネルギー事業

概況（平成26年度）

新エネルギー事業の売上高は122億50百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は12億14百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

通信市場は弱含みで推移し、電源需要が減少した一方で、太陽光発電向けパワーコンディショナが堅調だったほか、不採算事業の構造改革効果が寄与しはじめたことで、減収ながら増益を確保いたしました。



売上高構成比



売上高／営業利益実績

主要製品



パワーコンディショナ  
蓄電システム  
EV/PHV充電スタンド  
発電機用インバータ  
ガスコジェネレーションECU  
通信装置用整流器  
通信装置用インバータ

主な用途

太陽光発電システム  
蓄電システム  
EV用充電  
発電機  
ガスコジェネレーション  
通信機器

◇ その他

売上高は16億44百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は26百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

Shindengen India Private Limited 生産開始

インドのカルナタカ州で、かねてから建設を進めておりましたShindengen India Private Limitedの工場が完成し、本年9月にオープニングセレモニーが開かれました。

成長著しいインドは、世界有数の二輪車販売を誇っており、今後も拡大が続くと予想されております。

こうした状況下、新工場を設立し現地での供給体制を強化することで事業拡大を狙ってまいります。



オープニングセレモニーの様子



Shindengen India Private Limitedの概要

資本金	1,240,000,000ルピー
出資比率	新電元工業株式会社99.99%
場所	インド共和国 カルナタカ州 バンガロール
事業内容	二輪車用電装品等の製造・販売

## 「国際カーエレクトロニクス技術展」へ初出展します!

1月に東京ビッグサイトで開催される「国際カーエレクトロニクス技術展（以下、カーエレJAPAN）」へ初出展いたします。

カーエレJAPANはカーエレクトロニクスに特化したアジア最大級の専門技術展であり、カーエレクトロニクスに関わる部品・材料、ソフトウェア、製造装置等の関連企業が一堂に集結し、世界中の自動車メーカー・自動車部品メーカーとの技術相談・商談を行う展示会であり、当社の高い技術力を世界に向けて発信する機会と捉えております。



展示会名	第7回 国際カーエレクトロニクス技術展 (通称：カーエレJAPAN)
会期	2015年1月14日（水）～16日（金）
会場	東京ビッグサイト ※当社ブース 西1-75

### ◇会社概要

商号 新電元工業株式会社  
 本社所在地 東京都千代田区大手町二丁目2番1号  
 設立年月日 昭和24年8月16日  
 資本金 17,823百万円  
 従業員数 連結：5,255名 単体：964名  
 主要事業所 大阪支店・名古屋支店・飯能工場

### ◇取締役および監査役

代表取締役社長	森川 雅人	取締役	堀口 健治
取締役	小笠原 政教	取締役	山田 一郎
取締役	佐々木 延幸	常勤監査役	横瀬 是秀
取締役	荒幡 義光	監査役	沖本 隆史
取締役	鈴木 吉憲	監査役	三宅 雄一郎
取締役	根岸 康美		

(注1) 取締役山田一郎氏は、社外取締役であります。  
 (注2) 監査役沖本隆史および三宅雄一郎の両氏は、社外監査役であります。

### ◇執行役員

常務執行役員	小笠原 政教	執行役員	肥後 良明
常務執行役員	佐々木 延幸	執行役員	中村 政則
常務執行役員	荒幡 義光	執行役員	白羽 真
上席執行役員	鈴木 吉憲	執行役員	新関 清司
執行役員	根岸 康美	執行役員	田中 裕明
執行役員	堀口 健治	執行役員	田中 信吉
		執行役員	佐々木 正博

### ◇グループ企業一覧

〈国内〉	株式会社秋田新電元	株式会社東根新電元	株式会社岡部新電元	新電元デバイス販売株式会社	新電元スリーイ株式会社	新電元熊本テクノリサーチ株式会社	新電元エンタープライズ株式会社	株式会社新電元ロジステック	新電元メカトロニクス株式会社
〈海外〉	Lumphun Shindengen Co., Ltd.	Shindengen Philippines Corp.	PT.Shindengen Indonesia	Shindengen Vietnam Co., Ltd.	広州新電元電器有限公司	Shindengen (Thailand) Co., Ltd.	Shindengen America, Inc.	新電元(香港)有限公司	Shindengen UK Ltd.
	Shindengen Singapore PTE Ltd.	新電元(上海)電器有限公司	Shindengen India Private Ltd.	Napino Auto & Electronics Ltd.					

本書における、将来の見通しに関する記載につきましては、現時点で得られた情報に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

### ◇株式の状況

発行可能株式総数 310,000,000株  
 発行済株式総数 103,388,848株  
 株主数 6,789名  
 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
本田技研工業株式会社	13,363千株	12.92%
中央不動産株式会社	9,800	9.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,443	6.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,003	3.87
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,689	3.56
資産管理サービス信託銀行株式会社(みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口)	3,568	3.45
朝日生命保険相互会社	3,255	3.14
新電元工業協力会社持株会	2,103	2.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,018	1.95
株式会社埼玉りそな銀行	1,857	1.79

### 所有者別株式分布状況

